

内政

1. ブケレ大統領と立法府の対立

9日、ブケレ大統領は、治安当局を動員し国会議員に圧力をかけつつ、国会本会議場にて、治安対策にかかる1億9百万ドルの借款案件を承認する求めた。同行為に対しては、国内外より三権分立の原則を軽視し、エルサルバドルの民主的制度をないがしろにするものとの批判が寄せられている。

10日、違憲審査を行う最高裁憲法法廷はブケレ大統領の行為は違法であるとの判決を下し、ブケレ大統領に対し、共和制、議会民主制、複数政党制、三権分立の原則を危機に陥れる軍及び警察の使用を禁じた。

27日、国会は、本件の調査を行う特別委員会を設置する旨可決した、

2. 最大野党国民共和同盟（ARENA）ロペス党首の辞任

17日、最大野党国民共和同盟（ARENA）のグスタボ・ロペス・ダビットソン党首が辞職した。ロペス党首には、自身が関与する企業がエルサルバドル軍に対し行っている武器販売に関し、不正行為があったとの疑惑が寄せられている。

ロペス党首の後任には、エリック・サルゲロ副党首（イデオロギー担当）が就任した。

3. 国家和解法案に対する大統領拒否権の行使

28日、ブケレ大統領は、26日、国会が可決した国家和解法案に対し大統領拒否権を行使し、同法案を国会に差し戻した。同法案は、1980年から1992年の内戦時における重大な人権侵害にかかる犯罪行為に対する処罰、補償等を定めたもの。

4. ブケレ大統領の支持率調査

28日付け当地主要紙「ラ・プレンサ・グラフィカ」紙が発表した世論調査におけるブケレ大統領の支持率は85.9%であった（同紙前回12月調査における支持率は88.2%）。

外交

1. 日エルサルバドル外交関係樹立85周年記念式典

13日、エルサルバドル外務省において日エルサルバドル外交関係樹立85周年記念式典（外交関係樹立は1935年2月15日）が開催され、両国の友好関係を祝し、また、85周年記念ロゴのお披露目が行われた。

2. エルサルバドル・コスタリカ外相会合

24日、ヒル外相は、エルサルバドルを訪問したソーラーノ・コスタリカ外相とエルサルバドル・コスタリカ外相会合を行い、二国間共通の関心事項、二国間が共同で行うアジェンダ等について意見交換を行った。経済発展に関し、両外相は、エルサルバドルのラ・ウニオン港とコスタリカのカルデラ港をつなぐフェリー計画を引き続き促進していくことを約束した。両国は、二国間の政治、貿易、協力にかかるイニシアティブを取り扱う二国間戦略的パートナーシップ評議会の枠組で閣僚間による取組の強化を模索していく。

3. 欧州議員団のエルサルバドル訪問

24日-25日、Tilly Metz 欧州議員を団長とする欧州議員団がエルサルバドルを訪問し、ブケレ大統領、ヒル外相とそれぞれ会談した。Metz 団長はブケレ大統領に対し、9日の治安当局を動員した行為に対する懸念を表明した。これに対し、ブケレ大統領は、当日は国会外にデモ隊が集結しており、警備の観点から治安当局を国会に動員した旨説明した。欧州議員団は、エルサルバドルにおける殺人件数の減少は認めつつ、同国における多くのジャーナリストが脅迫を受けている現状、中絶によって女性が収監されている現状、深刻な行方不明者数に対し懸念を表明した。

経済

1. 電気自動車の使用推進の発表

(1) エルサルバドル政府は、よりきれいな自然環境作り、石油の消費削減及びオゾン層破壊につながる汚染ガス排出削減に積極的に貢献する代替品として電気自動車の使用推進イニシアティブを発表した。

(2) エルサルバドル国内では、毎日約110万台の自動車が走行しており、交通渋滞、環境汚染、騒音の原因となっている。これに対し、電気自動車は空気の質改善及び騒音削減に貢献するため、現在主流とされる自動車の代替品となることを目的とする。

(3) 自動車の関税にかかる規定を変更する場合は、中米経済統合閣僚審議会（COMIECO）における承認が必要であるが、2019年12月5日にCOMIECOにおいて、エルサルバドルへの電気自動車の輸入関税を30%から0%に引き下げる点についての承認（決議第420号）が得られた。

(4) アエム経済大臣は、電気自動車の使用推進に向け、電気自動車の充電ステーションに用いられる太陽光発電機への投資に申し出を行っている企業がすでに数社存在すると発表した。

2. EUによる2.1百万ドルの無償資金供与

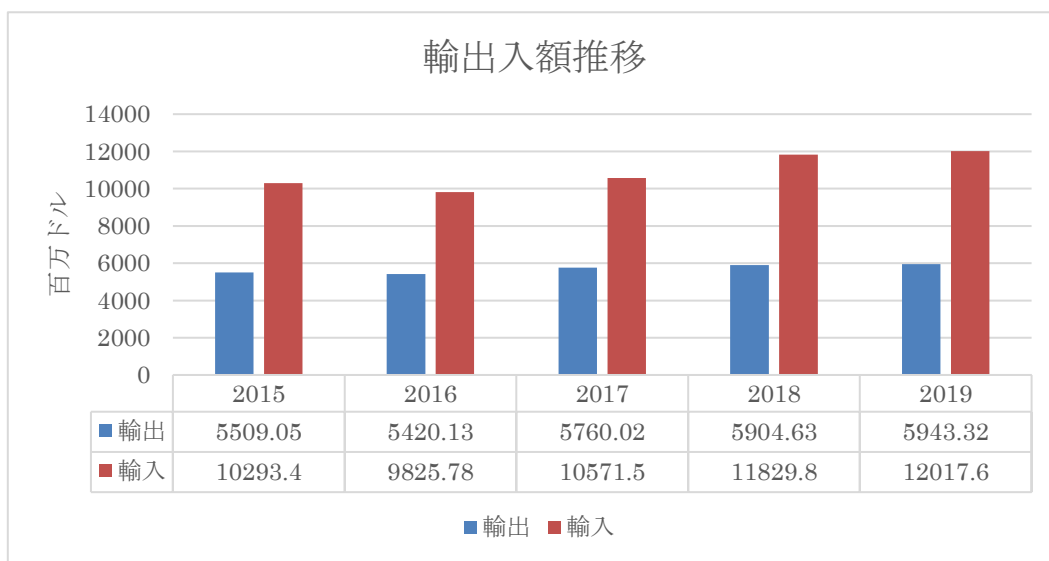
ヨーロッパ連合（EU）は、人権推進強化及び自然環境保護を目的とした5つの開発協力プロジェクトに向け、翌3年間で総額2.1百万ドル（2百万ユーロ）の無償資金供与を行うと発表した。同プロジェクトは、サンサルバドル県、チャラテナンゴ県、サン・ミゲル県、モラサン県及びクスカトラン県が対象とされ、以下5つの組織が実施機関となる。

- (1) Fundación Mundubat
- (2) Oikos-Cooperacao e Desenvolvimento
- (3) Asociación Salvadoreña Promotora de la Salud (ASPS)
- (4) Asociación de Cuencas del Golfo de Fonseca (ACUGOLFO)
- (5) el Instituto Sindicale perla Cooperazione Allo Sviluppo Associazione (ISCOS)

3. 第34回中米地峡諸国及びドミニカ共和国 IDB 加盟国総務会合

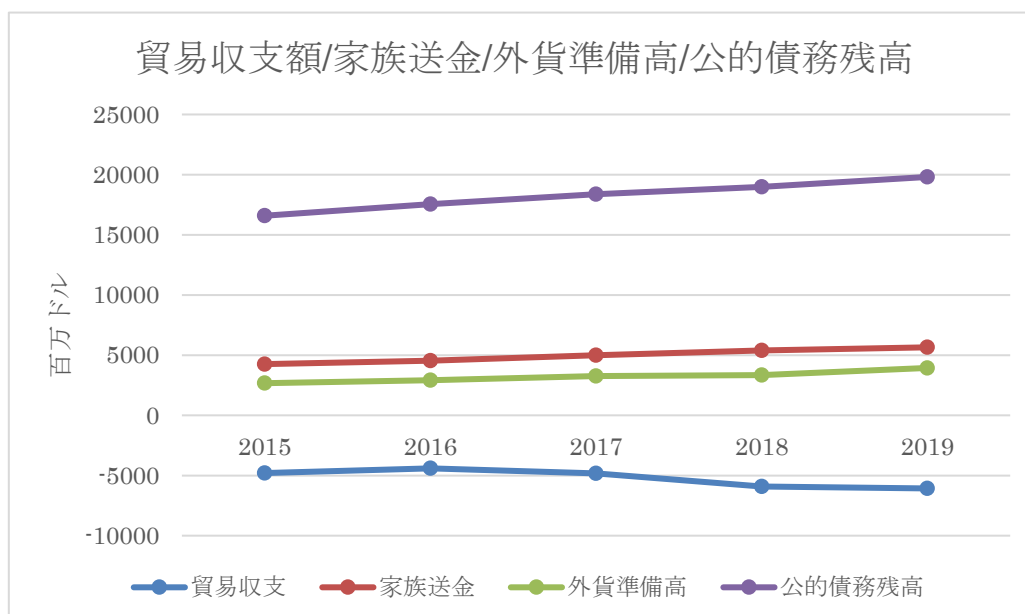
20日—21日、第34回中米地峡諸国及びドミニカ共和国 IDB 加盟国総務会合がサンサルバドル市で開催された。本会合では、今後10年間に向けた中米諸国及びドミニカ共和国における、さらなる安定及び繁栄が見込める社会の構築を目的に、政策優先課題に関する意見交換が行われた。また、同会合では、社会的脆弱性の根源の特定ならびに公平性と生産性に関するアジェンダを支えるための財政政策の役割に焦点が当てられた。

過去10年間で中米諸国及びドミニカ共和国ではマクロ経済の安定性及び財政の持続性の強化を図るための措置が施され、進展してきたことから、年間経済成長率は平均4%を超えている。2020年までに同地域では、ラテンアメリカ、さらには世界経済の平均を超えて3.9%の経済成長率が見込まれている。しかし、貧困削減スピードが遅いことが問題点としてあげられている。



(当國中銀データをもとに作成)

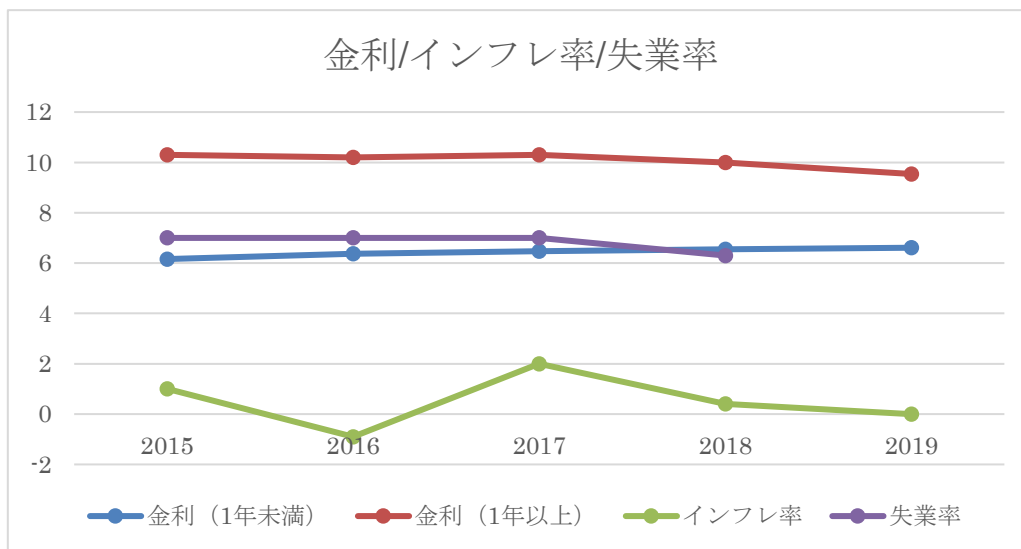
・2019年の輸出額5,943.32百万ドルとなり、前年比0.66%増加した。輸入額は12,017.6百万ドルとなり、前年比で1.59%増加した。



(当國中銀データをもとに作成)

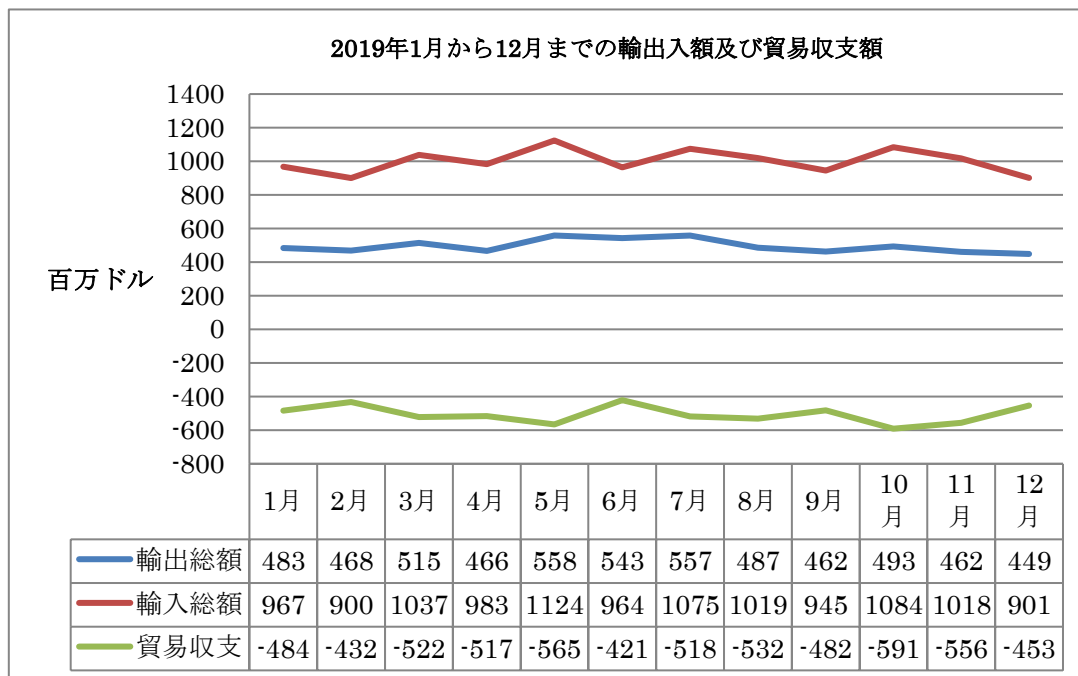
・ 2019 年家族送金額は 5,650.21 百万ドルであった。その内、米国からの送金は全体の 94.9% を占め、米国からの送金だけで総額 5,364.6 百万ドル、成長率 5.2% であった。

・ 貿易収支は -6074.2 百万ドルとなり、前年比 -149.08 百万ドルであった。

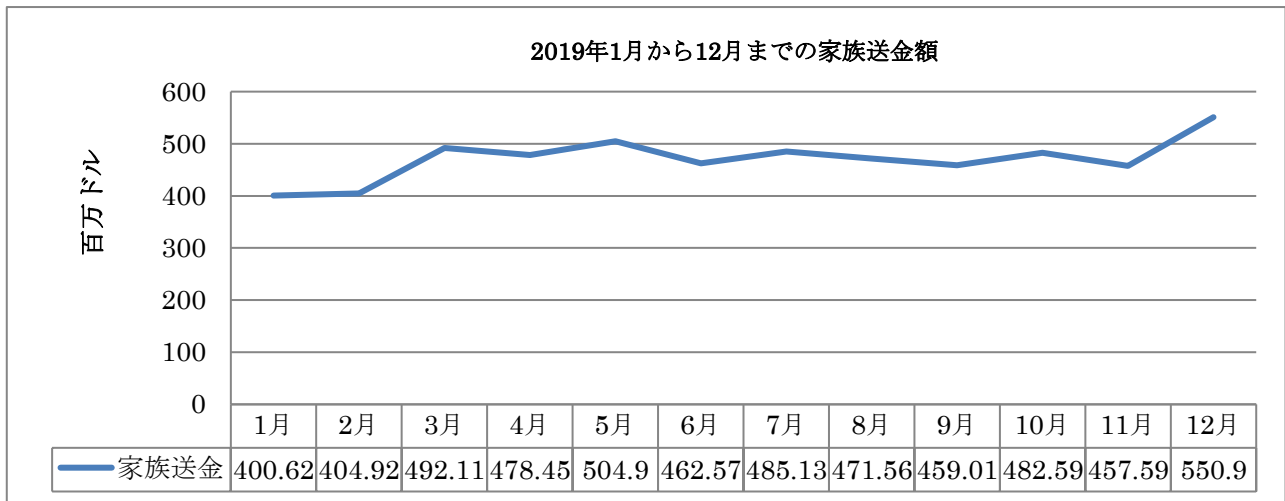


(当國中銀データをもとに作成)

・ 2019 年のインフレ率は -0.004% となり、前年と比較し、0.434 ポイント減少した。



(当國中銀データをもとに作成)



(当国中銀データをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. エルサルバドル国内における 2018 年から 2019 年の殺人事件推移（報道）

2月14日、当地主要紙ラ・プレンサ・グラフィカ紙は、当国法医学研究所による2018年から2019年に掛けての殺人事件数の統計に関して報じた。

(1) 2019年の殺人事件数は、前年比28.3%減少した。国内中央部地域の同事件数が36.5%減少したのに対して、東部地域は6.7%の減少にとどまった。県別で見た場合、国内14県中12県で殺人事件が減少した。

(2) 2019年、人口10万人あたりの殺人事件発生率は35.8件と、2018年の50.7件と比較して14.9件の減少となり、4年連続での減少を達成した。この数字は過去最も低い数字である。

(3) 犯罪地域コントロール計画(Plan Control Territorial)を導入していた22市の殺人事件減少率が27.7%であったのに対し、未導入の都市では同減少率28.6%と、未導入の市の方が高い結果となった。また発生件数で見ると、犯罪地域コントロール計画を実施している市の殺人事件減少数が平均13.1件であったのに対して、未実施の市は15.6件と、犯罪地域コントロール計画未導入の市の方が良い結果となった。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

2月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパング湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチット旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両 盗難	車両 強盗	強姦	交通 事故死	配送車 盗難強盗	誘拐
2019年12月	690	262	317	120	149	61	38	147	155	1	1
2020年1月	598	222	302	119	155	72	36	193	105	3	0

過去3年間同時期の犯罪件数推移

